

# 令和7年度第4回南外地域協議会会議録

令和8年1月22日

南外地域協議会

## 令和7年度第4回南外地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■職員紹介	2
■議題	3
1) 地域枠予算事業に関する報告について	2～4
2) 南外地域「彩色千輪プロジェクト」に関する報告について	4～6
3) 第7期地域協議会委員の選任に関する方針について	6～7
■その他	7
■閉会	7
■署名	7

## 令和7年度 第4回南外地域協議会 会議録

---

■日 時：令和8年1月22日（木） 18時00分

■会 場：南外コミュニティセンター

■出席委員： 9名

伊藤 伝悦、 加賀 正夫、 風口 宏子、 佐藤 喜八郎、  
風口 宏子、 佐渡 敏夫、 進藤 覚、 相馬 静華、  
高寺 衛

■欠席委員： 5名

伊藤 正人、 伊藤 悠、 伊藤 真紀子、 加賀屋 由香、  
今野 徹

■出席職員： 6名

○南外支所職員

佐々木 満智子（支所長）	小松 亮（市民サービス課長）
高橋 勉（農林建設課長）	堀井 みわ子（公民館長）
菊地 明憲（地域活性化推進室副主幹）	照井 真央（地域活性化推進室主事）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議題
  - 1) 地域予算事業に関する報告について
  - 2) 南外地域「彩色千輪プロジェクト」に関する報告について
  - 3) 第7期地域協議会委員の選任に関する方針について
- 4 その他
- 5 閉会
- 6 署名

---

(17時57分 開会)

○菊地地域活性化推進室副主幹（以下「地域活性化推進室副主幹」と表記）

皆様、本日は忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。定刻よりも若干早いんですけれども本日出席予定の皆さんいらっしゃっていますので、協議会の方を始めさせていただきます。ただいまから「令和7年度第4回南外地域協議会」を開会いたします。

開会にあたりまして、佐藤会長からご挨拶を頂戴いたします。

○佐藤正行会長（以下「会長」と表記）

皆さん、おばんでございます。足元の悪い中、今日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。第4回目の地域協議会ということで開催させていただきました。

今年は前回の協議会の時にクマの話をしましたが、今日は毎日雪が大変で、除雪でお疲れのことと思います。怪我のないよう対処していただければと思っております。昨日の夕方のニュースで、幼稚園児がソリで滑って喜んでいる映像がありましたが、子供は雪を楽しめていると思う反面、大人は大変です。青森の酸ヶ湯温泉は4メートルを超え、山形県の西川町も隠れ豪雪地帯と言われているそうですが、ここもそうならないよう願っています。春が来るのが待ち遠しいですが、それまで皆さんで頑張っていきたいと思っております。本日はよろしく申し上げます。以上です。

○地域活性化推進室副主幹

ありがとうございました。それでは議事に入らせていただきます。本日の出席委員数は9名で、2分の1に達しており、議事が可決されますので、内容について説明させていただきます。本日の議題はその他を含めまして3件であります。また会議録作成のため録音させていただきますことをあらかじめお断り申し上げます。なおご発言の際は、挙手の上会長の指名を受けてからお願いいたします。それでは議事の進行は佐藤会長にお願いいたします。

○会長

はい。それでは協議会を始めたいと思っております。議題に入る前に、本日の議事録証明委員を指名いたします。本日は風口宏子委員と相馬静華委員にお願いしたいと思っております。よろしく申し上げます。それでは議事を進めてまいりたいと思っております。議題1、地域枠予算事業に関する報告について事務局より説明をお願いいたします。

○照井地域活性化推進室主事

はい。議題1、地域枠予算事業に関する報告について説明させていただきます。資料1の「令和7年度 地域枠予算執行状況案」をご覧ください。【議題1 地域枠予算事業に関する報告について】説明させていただきます。「【令和7年度】地域枠予算執行状況一覧」をご覧ください。こちらは今年度実施された事業における現在までの執行額、現在までに完了して

いる事業・実績報告のあった事業の来場者数及び参加者数を一覧にまとめたものとなります。

上から順に説明させていただきます。初めに「地域とつながる！プロジェクト事業」です。こちらの事業は中学校生徒との作業は終了しており、現在までの執行額は47,892円となっております。現在年度末に向けて実績報告書の作成を進めているところで、今後実績報告書の印刷製本費で、およそ82,000円の支出を予定しております。

次に「地域の居場所づくり事業」です。現在までの執行額は5,000円となっております。今後消耗品費でおよそ20,000円の支出を予定しております。

次に「桜まつり開催事業」です。今年度は、南外ふれあいパークでのイベントが雨天中止の影響により、昨年と比較して支出額が減少し、現時点での執行額は177,517円となっております。なお、今年度から桜守り事業を桜まつり開催事業に集約しております。3月に実施予定のテングス病・枯れ枝の除去などの保全事業を業務委託するため、委託料としておよそ400,000円の支出を予定しております。

次に環境整備活動事業です。現在まで実績報告書が提出されているのは40自治会中39自治会で、ほとんどの自治会への支払いが完了しており、執行額は1,042,560円です。未提出の自治会については引き続き提出を促していく予定です。

次に「南外地域運動会開催事業」です。こちらは、12月5日付けで実績報告書が提出され、事業が完了しており、執行額は282,647円です。運動会当日は晴天に恵まれ、参加者数はおおよそ400人とのことでした。前回の協議会の際にも申し込みが少ないとのことで議題に上がりましたが、昨年度と比較して参加者数は200名減少しております。

次に南外地域花いっぱい運動事業です。こちらは10月21日付けで実績報告書が提出されており、執行額は272,250円となっております、参加者数はおおよそ1,000人となっております。

次に檜岡城址景観保全・継承事業です。こちらは、1月7日付けで実績報告書が提出されており、執行額は111,431円、来場者数は200名となっております。

ここからは、補助金型の事業になりますが、今後実施予定の事業と実績報告があった事業のみご説明させていただきます。

まず初めに、「南外小唄まつり」開催事業です。今年度は3月20日（金）春分の日で開催される予定です。会場は南外コミュニティセンターです。現在の出場者数は、一般が29名、年少が3名となっております。参加者の募集は1月末で締め切っておりますが、2月9日まで追加で募集しておりますので周りの方にお声がけいただければと思います。次回の協議会の際に事業説明書に沿って詳しい内容をご説明させていただきます。

次に南外盆踊り開催事業です。9月30日に実績報告書が提出されており、今年度の来場者数は200名となっております。来場者数は昨年と変わらない数となっております。

次にあきた里山プラス「木工体験事業」です。こちらは11月27日付けで実績報告書が提出されており、来場者数は50名となっております。今年度新たにモルックゲームを取り入れたことにより、より多くの子どもたちが木材に触れる機会となったほか、大人も一緒になって参加できる体験であったため、来場者の年代は幅広いものとなりました。

最後にさなぶり酒花火事業です。こちらは7月25日に実績報告書が提出されており、来場者数は1,800人となっております。

以上の内容により現在までの地域枠予算の執行率は、75.3%となっております。今後の支出予定を踏まえると、年度末までの執行率は8割を超える見込みであり、昨年度実績と同程度に達すると予測されます。

地域枠予算事業についての説明は以上となります。

## ○会長

はい、ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、ご質問やご意見がございましたら挙手の上発言をお願いいたします。何かございませんでしょうか。

## ○地域活性化推進室副主幹

今照井の方から説明させていただいたんですけれども、来年度の地域枠予算事業についてですが、実施内容については今年度の事業内容をベースにしているため、大きな変更はない予定です。その中で、毎年継続事業で実施している「南外桜まつり」についてですが、南外桜まつりについては、事業の実態に合わせて一昨年度に行政主導型にしましたが、イベント開催などに関する事業は、出来る限り市民の皆さんと一緒にという市の方針もありまして、今年度より再度市民協働型となっております。今年度は、悪天候のため開催見送りとなっておりますが、来年度については例年同様、4月下旬の開催を予定しています。

3月中に実行委員会を開催し、内容や日程について協議を行う予定で、今回からは若い世代の意見も取り入れたいということで、加賀屋委員からも実行委員会に参加していただく予定です。屋外イベントで天候に左右されるということもありますが、集客について年々難しくなってきたような傾向もみられてきました。地域協議会委員の皆さんからも、今後のイベントや会場（屋内・屋外）などについてもご意見をいただければと思います。会議終了後でも構いませんので、何か集客などへの取り組みで良いアイデアがありましたら、こちらまでご連絡いただきたいと思います。

## ○会長

はい、ありがとうございました。なにかご質問やご意見がございませんでしょうか。

【質疑無し】

はい。それではないようですので、続きまして議題2の南外地域彩色千輪プロジェクトに関する報告について事務局より説明をお願いいたします。

## ○地域活性化推進室副主幹

それでは議題2「南外地域彩色千輪プロジェクト」に関する報告について説明させていただきます。資料2の「なんがい支所だより2026年4月増刊号」をご覧ください。

こちらは、4月上旬に全戸配布を予定している令和7年度の彩色千輪プロジェクト事業をまとめた、「なんがい支所だより4月増刊号」の原稿になります。

今年度の彩色千輪プロジェクトは、継続事業である南外中学校「地域とつながるプロジェクト」のほか、新たに生まれ変わった「南檜岡コミュニティセンター」を活用したイベントや、昨年4月から南外支所へ配属となっている地域おこし協力隊による南外さいかい市のサポート事業などが主な事業となります。

事業内容については、随時地域協議会でも説明させていただいておりますので、抜粋して説明させていただきます。

2ページ目をご覧ください。地域とつながる！プロジェクト事業では、3年生がミニコミュニティ誌 ZINE 作成を実施しています。3年生が3グループに分かれて、各グループテーマを決めて1冊ずつ作成しました。今日は、完成したものをお配りしておりますが、地域住民をテーマにしたものや、温泉施設、地場産業などをテーマにしたものなど、中学生の目線で考えた個性あふれる作品となっております。後ほどゆっくりとご覧いただきたいと思いますが、完成した作品は「なんがい地域祭」などでも展示しており、年度内には地域内の公共施設でもご覧いただけるように展示する予定です。

2年生については、南外さいかい市の商品や活動を応援する取り組みを行いました。昨年度に引き続き、大仙市地域おこし協力隊などと協力し、南外さいかい市の模擬店舗の企画・運営、販売実践などを行っています。これまで、地域とつながる！プロジェクトでは、1年生では「さいかい市」、2年生で「徳五郎翁関係事業」といったように、学年に応じて取り組み内容を変えておりましたが、今回の2年生は昨年度から2年続けて「さいかい市関連の事業」ということで、当初はマンネリ化という心配もありましたが、実際に取り組みがはじまると、昨年の経験を活かして、協力隊との連携やアイデアの出し方などでかなり成長した部分を見ることが出来ました。今後も、そういったプラスの面もあることから、単年の取り組みにするのか継続した取り組みにするのかも含めて来年度の取り組みを検討していきたいと思っております。

3ページ目の上段は、1年生の取り組みになります。1年生には「徳五郎翁昔ばなし伝承事業」ということで、徳五郎翁が語り継いだ約100話の昔話を題材にした「昔ばなしかるた」づくりに取り組んでいただきました。これまで、徳五郎顕彰会の立ち上げや、徳五郎翁関連事業として「紙芝居づくり」を実施してきておりますが、顕彰会の委員から現代の子ども達は方言にふれる機会も少ないため、いきなり昔ばなしを聞いたり、自分で話したりするのは難しいのではないかと、といった意見もありました。そこでまずは、少しずつ「昔ばなし」に興味を持ってもらおうと、そのきっかけづくりとして企画したのが「昔ばなしかるた」でした。イラストレーターの岡田智美さんの作画指導などもあり、10月に完成することができました。完成品を中央の台の上に設置しておりますので、後ほどご覧いただきたいと思っております。完成したかるたを使って、11月には南外小学校児童とのかかるた交流会を実施しております。3ページの左下にあります「地域の居場所づくり事業」の一環で、世代間交流の位置づけで地域の高齢者の皆さんとのかかるた交流会も10月に開催しました。参加者の皆さんも、慣れ親しんだ「かるた取り」ということで中学生よりも熱中して参加されておりました。

その他には、南檜岡コミュニティセンターで実施した防災教室や、地域おこし協力隊の活動サポートに関する内容となっております。4ページ1番最後が協力隊部分になりますが、

ご覧になられた方もいらっしゃるかと思いますが、昨年12月に放送されました「あきたふるさと手作りCM大賞」へ、今回は大仙市として南外地域・南外さいかい市をテーマにしたCMを出品しました。結果は審査員特別賞で、受賞したCMは、年間50本放送される予定です。また、未定稿の部分には、2月28日開催の「NEW! きよてんまつり」の原稿を掲載予定です。

資料3の「きよてんまつり」イベントチラシをご覧ください。今回の「きよてんまつり」は2月28日(土)を予定しております。これまでの「きよてんまつり」では、マジックショーや歌謡ステージ、昔語りなど見て楽しんでいただくような内容で実施していましたが、今回は、家族連れなどの層をターゲットにした、体験型のイベントを企画しました。これまでイベントを開催する中で、子ども達が遊べる部分が少ないというような意見もいただいておりますので、eスポーツやレジンキーホルダーづくり、スライムづくり、スノーランドなどで子ども達からも楽しんでもらえるようなイベントにしたいと考えております。

また、これまで支所主催イベントなどでは、あまり実施する機会がありませんでしたが、今回は檜岡陶苑からもご協力いただき、地元の特産品である「檜岡焼」のB品を詰め込んだ福箱の販売も予定しております。こちらのチラシは、2月上旬に全戸配布予定となっております。以上で、議題2について説明を終わります。

## ○会長

はい、ありがとうございました。ただいまの説明につきましてご質問、ご意見がございましたら挙手の上、発言をお願いいたします。何かございませんでしょうか。はい、伊藤委員。

## ○伊藤伝悦委員

昔話かるたについてですが、今の世代は方言をあまり使わなくなっています。去年、小学校で中学生による堀井徳五郎さんの紙芝居を聞いたんですけれども、少しごちない感じでした。たしかに私の身近にいる私の孫も妙にあの、関西弁の影響を受けていたりします。このあいだわらび座の「秋田は何もない」の劇を湯沢市で見た時に本当に感動したのですが、藤子さんという主人公の方言が本当に上手でした。これはやっぱり文化だなと、なくしちゃいけないなと。小学生・中学生がもっと堂々と方言を使えるような環境・きっかけがあればいいなと感じました。

## ○会長

はい、ありがとうございました。何か今の意見に関連すること、ご意見等ございますでしょうか。その他にかございませんか。はい、ないので、続きまして議題3「第7期地域協議会委員の選任に関する方針」について、事務局より説明をお願いいたします。

## ○地域活性化推進室副主幹

はい。それでは議題3について説明させていただきます。資料4の大仙市地域協議会委員選任方針をご覧ください。皆さんご存知のとおり、現在の第6期地域協議会委員の任期は、

令和8年3月31日までとなっております。

今回の改選にともない、市の統一方針として資料のとおり示されております。委員定数は、現行の14名から変更はございません。「再任の取り扱いについて」という部分について、これまで南外地域協議会では3期、4期と再任いただいた委員の方もいらっしゃいますが、今回の方針で最長で「2期（6年）まで」と示されておりますので、佐藤会長とも協議し、南外地域協議会でも市の選考方針にしたがって委員改選を行うことにいたしました。南外地域協議会で現在1期目の委員の皆さんは、8名となります。1期目の皆さんに関しては、これまで委員の皆さんとともに作り上げてきた「彩色千輪プロジェクト」が来年度までとなっていることもあり、支所としてもぜひ再任していただきたいと考えております。対象となる委員の皆さんには、本日の資料と一緒に「再任の意向確認通知」を配付しておりますので、期限までにご回答いただけますようお願いいたします。

今回で任期満了となり退任される皆様におかれましては、後任者の推薦などにご協力をお願いしたいと考えております。2月中には、新たに委員になられる方の選考を行いたいと思いますので、委員に適任な方がいらっしゃれば是非ご推薦いただきたいと思います。以上で、議題3について説明を終わります。

## ○会長

はい、ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、ご質問やご意見等ありましたら挙手の上、発言をお願いいたします。何かございませんでしょうか。ないですか。

### 【質疑無し】

はい。それでは、ないようですので、次第4のその他に入りたいと思います。何かございますでしょうか。

ないようですので、本日の協議会はこれで終わりたいと思います。次回は今年度最後の会合になり、3月中旬を予定しております。詳細は後日事務局を通じてお知らせいたします。これもちまして、令和7年度第4回南外地域協議会を閉会します。おつかれさまでした。

(18時30分 閉会)

---

南外地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

風口宏子

---

相馬静華

---